

システム変更等のお知らせ

(2012.1.5 - 2012.3.1 変更)

システム運用係

1. ハードウェア

1.1 FX10 スーパーコンピュータシステム (Oakleaf-FX) … 新規

	項目	機器諸元
システム全体 (計算ノード)	総理論演算性能	1.135 PFlops
	総主記憶容量	150 TByte
	総ノード数	4,800
	インターコネクト	6 次元メッシュ / トーラス
	ローカルファイルシステム	1.1 PByte
	共有ファイルシステム	2.1 PByte
ノード仕様	理論演算性能	236.5 GFlops
	プロセッサ数 (コア数)	16
	主記憶容量	32 GByte
プロセッサ仕様	プロセッサ名	SPARC64™ IXfx
	周波数	1.848 GHz
	理論演算性能 (コア)	14.78 GFlops

1.2 HA8000 クラスタシステム (T2K 東大) … なし

1.3 SR16000 システム (SMP) (Yayoi) … なし

2. ソフトウェア

2.1 RedHat Enterprise Linux 6.1、XTC OS (FX10) … 新規

項目	FX10 スーパーコンピュータ	
	計算・インタラクティブノード群	ログインノード群
OS	XTC OS (専用 OS)	RedHat Enterprise Linux 6.1
コンパイラ	富士通社製コンパイラ Fortran77/90、C、C++ コンパイラ GCC、g95	富士通社製コンパイラ (クロス環境) Fortran77/90、C、C++ コンパイラ GCC、g95(クロス環境)
ライブラリ	富士通社製ライブラリ SSLII (Scientific Subroutine Library II)、C-SSLII、SSLII/MPI その他ライブラリ BLAS、LAPACK、ScaLAPACK、FFTW、SuperLU、PETSc、METS、 SuperLU_DIST、Parallel NetCDF	
アプリケーション	OpenFOAM、ABINIT-MP、PHASE、 FrontFlow/blue、FrontISTR、 REVOCAP	
ファイルシステム	FEFS (ローカルファイルシステム、共有ファイルシステム) Lustre (外部ファイルシステム)	

2.2 RedHat Enterprise Linux 5 (HA8000) … なし

Gaussian09	(2012.2.24)
<ul style="list-style-type: none"> • Gaussian09 B.01 から C.01 へ リビジョンアップしました。本リビジョンアップによる利用方法等の変更はありません。 	
マニュアル追加	(2012.2.24)
<ul style="list-style-type: none"> • SMT 機能や、ノード内にある個々のプロセッサ、メモリ割り付け等に関する情報（ジョブの起動方法など）をまとめたチューニング、利用ガイドを公開しました。 SR16000 利用者専用 Web ページで参照可能です (https://yayoi-man.cc.u-tokyo.ac.jp/)。 <ul style="list-style-type: none"> ○ チューニングガイド <ul style="list-style-type: none"> 性能を引き出す利用方法 プログラムチューニング ○ 利用ガイド <ul style="list-style-type: none"> ジョブ実行方法 	

3. その他

3.1 2012 年度のサービスについて

2012 年度は、HA8000 クラスタシステムで行っていたサービスの一部を FX10 スーパーコンピュータシステムで実施するなど、サービス提供資源の見直しを行っています。

SR16000 システムでは、ジョブクラス制限値の見直しを行います。また、HA8000 クラスタシステムでは 2012 年度前期（4 月～9 月）、後期（10 月～3 月）でパーソナルコースのジョブクラス制限値（パーソナルコース 5）の最大ノード数の変更や、提供する計算資源の変更などを予定しています。

2012 年度のサービスについては、本誌別記事「2012 年度のサービスについて」をご覧ください。

3.2 FX10 スーパーコンピュータシステム (Oakleaf-FX) のサービス、試験運転について

2012 年 4 月 2 日（月）10:00 より、FX10 スーパーコンピュータシステムの試験運転を開始する予定です。また、従来 HA8000 クラスタシステムで行っていたサービスの一部については、FX10 スーパーコンピュータシステムで実施します。

詳細については、以下本誌別記事をご覧ください。なお、本誌記載記事内容については、原稿執筆時によるもので実際の運用時とは異なる場合があります。最新の情報については、本センター Web ページにてお知らせしておりますので、こちらをご覧ください。

- FX10 スーパーコンピュータシステム試験運転期間中の運用について
- FX10 スーパーコンピュータシステム「トークン」制度について
- FX10 スーパーコンピュータシステムの利用方法について
- FX10 スーパーコンピュータシステム「大規模 HPC チャレンジ（試験運転期間）」課題募集のお知らせ
- FX10 スーパーコンピュータシステム「教育利用」のお知らせ
- FX10 スーパーコンピュータシステム「トライアルユース」のお知らせ
- FX10 スーパーコンピュータシステム「企業利用」のお知らせ
- FX10 スーパーコンピュータシステム「若手利用」のお知らせ
- 大規模超並列スーパーコンピュータシステム PRIMEHPC FX10 の特長

3.3 利用負担金変更について

FX10 スーパーコンピュータシステム導入、大学等・公共機関等の区分見直しなどを実施し、2012 年度の利用負担金制度が一部変更となりました。

詳細については、本誌別記事「利用負担金の改正について」をご覧ください。

3.4 HA8000 クラスタシステムのファイルシステム見直しについて (再掲)

HA8000 クラスタシステムのファイルシステムソフトウェア (HSFS) を、メタデータアクセス性能の向上が期待される版へのバージョンアップを予定しています。本作業に伴い、2012 年 3 月末にファイルサーバの一部接続変更並びに、短期ファイル (/short) の新バージョン適用作業を実施する予定です。

利用者の皆様には大変ご不便、ご迷惑をおかけいたしますが、/short ファイルシステムに保存されている短期ファイルは、年度末処理日 (2012 年 3 月 30 日) に保存期間満了前でも、すべて削除されますのでご注意ください。